

アソカ講話060

テーマ「在宅は幸せか・・・4 新規事業開設にあたり」

人がどうあることが幸せか、それは在宅・施設と言う形のあり様にあるのではなく、人と人がどう繋がっているか、その心のあり様に本質はあるのだと思う。また、人の幸せは最終的には自分が決めるものであり、見つけるものではなく感じるものだとされる。

同時に、環境が人に与える影響が大きいのも事実。私達が日々見ている、暮らしている風景が私達の心に様々な影響を及ぼしている。自然の中にいると癒されたり、美しい芸術を観ると感動したり、きれいな場所にいると凜とする。

日本人の多くの方が何か落ち着く風景があるという。それは日本の原風景と言われる里山の景色、感じ。今度の新しい施設は、日本人がいて落ち着く仕様となっている。日本人には日本人が長い歴史の中で培ってきた文化・暮らしがあり、そのことを大切にすることがそこに住む人の心を豊かに穏やかにする。

私達は、ご利用者が落ち着く環境とは何かを考えケアすることも大切なことであり、私達の存在そのものも環境であるという認識から、お年寄りの目に映る私達に姿は笑顔であって欲しいと思う。

新規事業が始まる。笑顔と感謝のあふれる環境であってほしい。